









諸外国における初回接種完了から3回目接種（追加接種）までの間隔について（1/2）

オミクロン株の出現と感染例の増加を契機に、諸外国において、初回シリーズの接種完了から3回目接種（追加接種）までの接種間隔を短縮している。

国・地域	基本方針の 発出機関	追加接種として使用 するワクチン	接種間隔と経緯
 米国	CDC	・ ファイザー	・ オミクロン株の出現と感染例の増加のため6か月から5か月に短縮（2022/1/4）
		・ モデルナ	・ オミクロン株の出現と感染例の増加のため6か月から5か月に短縮（2022/1/7）
		・ ヤンセン	・ （追加接種開始当初より）接種間隔は2か月以上経過後（2021/10/20）
 英国	UKHSA	・ ファイザー、 モデルナ、 アストラゼネカ	・ オミクロン株による感染リスク変化のため6か月から3か月に短縮（2021/11/29）
 カナダ	NACI	・ ファイザー、 モデルナ	・ （追加接種開始当初より）接種間隔は6か月以上経過後（2022/4/12）
		・ ノババックス	・ （追加接種開始当初より）接種間隔は6か月以上経過後（2022/4/12）
 フランス	保健省	・ ファイザー、 モデルナ	・ 疫学的状況に関する懸念があり、集団のワクチンによる予防効果を高めるまでの時間を短縮させるため、また3か月間隔での追加接種戦略がオミクロン株による死亡を15%低減させるというECDCの数理モデルの結果を受けて、6か月から3か月に短縮（2021/12/23）

諸外国における初回接種完了から3回目接種（追加接種）までの間隔について（2/2）

オミクロン株の出現と感染例の増加を契機に、複数の諸外国において、初回シリーズの接種完了から3回目接種（追加接種）までの接種間隔を短縮している。

国・地域	基本方針の 発出機関	追加接種として使用 するワクチン	接種間隔と経緯
 ドイツ	保健省	• ファイザー、 モデルナ	• オミクロン株の出現のため6か月から3か月に短縮（2021/12/21）
 イスラエル	保健省	• ファイザー、 モデルナ、 アストラゼネカ	• オミクロン株の出現のため5か月から3か月に短縮（2021/12/27）
 国際連合	WHO	• （明記なし）	• （間隔の明記なし）（2022/3/8）
 EU	EMA	• ファイザー、 モデルナ • ヤンセン	• 感染者数と入院率の上昇のため6か月から3か月に短縮（2021/12/7） • （追加接種開始当初より）接種間隔はヤンセン社ワクチン接種後2か月以上経過後、またはmRNAワクチン接種後、それぞれのワクチンにおける追加接種の推奨間隔経過後（2021/12/15）

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について



米国

接種開始日
(初回/追加接種)

認可されているワクチン
及び組み合わせ

追加接種対象者とその推移

初回接種

2020年12月～

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- ヤンセン

追加接種（3回目）

(CDC、4月22日最終更新日)

2021年8月13日～：中等度～重度免疫不全者

9月25日～：ファイザー社ワクチン2回目接種完了後6か月以上経過した者のうち、

- 65歳以上の高齢者及び50歳以上64歳以下で特定の疾患※²を持つ者、18歳以上の長期療養施設入所者は接種すべき。
- 18歳以上49歳以下で特定の疾患※²を持つ者、18歳以上64歳以下で職業上または居所におけるウイルス曝露のリスクが高い者(医療従事者、教員等)は接種し得る。

10月21日～：以上対象者のうちモデルナ社ワクチンを初回シリーズで接種した者に拡大。ヤンセン社ワクチンを初回シリーズで接種した18歳以上の者は追加接種すべき。

11月29日～：18歳以上の者は全て接種すべき。

12月9日～：16～17歳の者は接種を強く推奨。

2022年1月5日～：12～17歳の者は接種すべき。

追加接種（3回目）

中等度～重度

免疫不全者：

2021年8月13日～

追加接種（3回目）

(CDC、4月22日最終更新日)

- 対象者は追加接種にどのワクチンを接種するか選べる。
- 12～17歳の者にはファイザー社ワクチンのみ接種し得る。

高齢者他：

2021年9月25日～

接種間隔

追加接種（3回目）：

初回シリーズ完了から**5か月以上経過後**※¹

追加接種（4回目）：

3回目接種完了から**4か月以上経過後**※¹

追加接種（4回目）

(CDC、4月22日最終更新日)

- 4回目接種はmRNAワクチンでなければならない。

追加接種（4回目）

(CDC、4月22日最終更新日)

2022年3月29日～：50歳以上の者、中等度から重度の免疫不全者※³、ヤンセン社ワクチンを初回・追加で接種した者※¹が接種し得る。

※¹ 中程度～重度免疫不全者は2回目接種から4週間以上経過後に初回シリーズとして3回目を接種。追加接種（4回目）は3回目接種完了から3か月以上経過後。追加接種（5回目）は4回目接種完了から4か月以上経過後。ヤンセン社ワクチンを初回シリーズで（1回）接種した者は初回シリーズ完了から2か月以上経過後に追加接種（2回目）。追加接種（3回目）は2回目接種完了後4か月以上経過後。

※² 癌、慢性腎臓病、慢性肺疾患、認知症やその他神経疾患、糖尿病、ダウン症、心疾患、HIV、免疫不全、肝疾患、肥満、妊娠、鎌状赤血球症、サラセミア、喫煙歴、移植歴、脳卒中、脳血管障害、薬物中毒

※³ 固形腫瘍や血液腫瘍の治療中、固形臓器移植後で免疫抑制療法中、CAR-T療法を受けた既往または（2年以内の移植または免疫抑制療法中の）造血幹細胞移植を受けた既往、中等度から重度の原発性免疫不全、進行したまたは未治療のHIV感染、高用量ステロイド・アルキル化薬・代謝拮抗薬・臓器移植に関連した免疫抑制剤・TNF阻害剤等による治療中等を含む。

SOURCE: 保健福祉省, CDC, CDC, CDC, CDC, CDC, CDC, CDC, CDC

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について



英国

接種開始日

(初回/追加接種)

認可されているワクチン及び組み合わせ

追加接種対象者とその推移

初回接種

2020年12月～

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- アストラゼネカ
- ヤンセン
- ノババックス

追加接種（3回目）

(NHS、4月14日最終更新日)

2021年9月20日～：50歳以上の者、介護施設に居住、あるいは勤務する者、現場で働く医療・介護従事者、新型コロナウイルス感染による重症化リスクを高める疾患を有する16歳以上の者、ハイリスク者を介護する16歳以上の者、新型コロナウイルス感染リスクの高い者の16歳以上の同居家族 (HIV陽性者、移植レシピエント、癌・ループス・リウマチへの治療を受けている者等)は接種し得る。

11月15日～：40歳以上の者は接種し得る。

12月10日～：30歳以上の者は接種し得る。

12月12日～：18歳以上の者は接種し得る。

2022年1月17日～：16歳以上の者、12-15歳で新型コロナウイルス感染による重症化リスクが高い者、12-15歳で免疫不全者と同居している者は接種し得る。

追加接種(3回目※1)

免疫不全者：

2021年9月1日～

それ以外：

2021年9月20日～※2

追加接種（3回目）

(NHS、3月10日最終更新日)

- ファイザー社またはモデルナ社ワクチンの使用を推奨。初回シリーズと異なるワクチンも接種し得る。
- mRNAワクチンを使用できない場合、アストラゼネカ社のワクチンを使用し得る。
- 18歳未満の者はファイザー社ワクチンのみを接種し得る。

追加接種(4回目)

2022年春

接種間隔

追加接種(3回目)：

初回シリーズ完了から

3か月以上経過後※3

追加接種（4回目）

(NHS、3月24日最終更新日)

- ファイザー社またはモデルナ社ワクチンの使用を推奨※5。

追加接種（4回目）

(NHS、4月14日最終更新日)

2022年3月21日～：3回目接種から概ね6か月以上が経過した75歳以上の者、介護施設に居住する高齢者、12歳以上の免疫不全者に接種を推奨※4。

追加接種(4回目)：

3回目接種完了から概

ね6か月以上経過後※4

※1 初回シリーズ完了後、最初の追加接種。免疫不全者で初回シリーズに3回接種した場合には4回目接種に該当。※2 地域により実際の開始日は異なる。

※3 免疫不全者は初回シリーズ完了から8週間以上経過後。その他の者について追加接種開始時（9月20日）は初回シリーズ完了から6か月以上経過としていたが、11月29日にオミクロン株による感染リスクの変化を受け「3か月以上」に接種間隔を短縮。※4 最短で3か月以上経過後。※5 医師より例外的に他のワクチンを推奨され得る。

SOURCE: 英国内閣府, Public Health England, NHS, UKHSA, UKHSA, 英国保健省, 英国内閣府, NHS, UKHSA, NHS, UKHSA

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について

フランス

接種開始日

(初回/追加接種)

初回接種

2020年12月～

追加接種（3回目）

重度の免疫不全者：2021年4月11日～
それ以外：2021年9月1日～

追加接種（4回目）

2022年3月14日～

接種間隔

追加接種（3回目）：

18歳以上は初回シリーズ完了から**3か月以上経過後**^{※1}
12-17歳は初回シリーズ完了から**6か月以上経過後**

追加接種（4回目）：

80歳以上の者、介護施設入居者、長期医療ケア病床入院者は3回目接種完了から**3か月以上経過後**
60-79歳の者は3回目接種完了から**6か月以上経過後**

認可されているワクチン及び組み合わせ

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- アストラゼネカ
- ヤンセン
- ノババックス

追加接種（3回目）

(保健省、4月20日最終更新日)

- 初回シリーズで使用したワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンの使用を推奨。
- ヤンセン社ワクチンはmRNAワクチンが禁忌の者に限る。
- 12-29歳についてはファイザー社ワクチンのみ使用を推奨。

追加接種（4回目）

(保健省、4月20日最終更新日)

- mRNAワクチンの使用を推奨。

追加接種対象者とその推移

追加接種（3回目）

(保健省、4月20日最終更新日)

2021年4月11日～：重度の免疫不全者に対して接種を推奨。

9月1日～：高齢者施設等の入所者、自宅在住の65歳以上の者、重症化リスクが非常に高い者、基礎疾患を有する者、ヤンセン社ワクチンを接種した者に対して接種を推奨。

10月6日～：医療従事者及び医療、介護業の全従業員、ハイリスク者の自宅介助者、救急隊員及び消防隊員、免疫不全者と接点の多い18歳以上の者に対して接種を推奨。

11月26日～：18歳以上の者、12-17歳の基礎疾患を有する者に対して接種を推奨。

2022年1月24日～：12-17歳の者に対して接種を推奨。

追加接種（4回目）

(保健省、4月20日最終更新日)

2022年3月14日～：80歳以上の者、介護施設入居者、長期医療ケア病床入院者に対して接種を推奨。

3月31日～：60-79歳の者に対して接種を推奨。

※1 ヤンセン社ワクチンを接種した者は、初回接種後4週間以上経過後に2回目を接種し、更に3か月以上経過後。新型コロナウイルス感染後にヤンセン社ワクチンを接種した者は、接種後4週間以上経過後。ヤンセン社ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染した者は、以下の2通り。①接種後15日以内に感染した場合；感染後から4週間後にmRNAワクチンを1回接種し、更に3か月以上経過後に追加接種し得る。②接種後15日以上経過して感染した場合；感染から3か月以上経過後に追加接種し得る。その他の者については11月26日以降初回シリーズ完了から5か月以上経過後としていたが、第5波の影響とオミクロン株の出現により12月24日に「3か月以上経過後」に接種間隔を短縮。

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について



ドイツ

接種開始日

(初回/追加接種)

初回接種

2020年12月～

追加接種（3回目）

2021年9月1日～

追加接種（4回目）

2022年2月15日～※1

接種間隔

追加接種(3回目)：

初回シリーズ完了から**3か月以上**※2,3経過後

追加接種(4回目)：

70歳以上の者、5歳以上の免疫不全者、介護施設入所者は3回目接種完了から**3か月以上**経過後
医療又は介護施設で勤務する者は3回目接種完了から**6か月以上**経過後

認可されているワクチン及び組み合わせ

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- アストラゼネカ
- ヤンセン
- ノババックス

追加接種（3回目）

(保健省、3月24日最終更新日)

- 初回シリーズで使用したワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチン（ファイザー社またはモデルナ社ワクチン）の使用を推奨。
- 12歳以上29歳以下についてはファイザー社ワクチンのみ使用すべき。

追加接種（4回目）

(保健省、4月20日最終更新日)

- mRNAワクチンを使用すべき。

追加接種対象者とその推移

追加接種（3回目）

(保健省、4月22日最終更新日)

2021年9月1日～：高齢者施設等の入所者、免疫不全者・免疫抑制者、在宅で介護の必要な者、80歳以上の者、初回シリーズをウイルスベクターワクチン（アストラゼネカ社、ヤンセン社）で完了した者あるいは既感染者で1回ウイルスベクターワクチンを接種した者は接種し得る。

9月6日～：重度免疫不全者と自宅で接触し得る者、医療者の助言や個人の判断を踏まえ接種を希望する60歳以上の者、医療、介護施設等で業務上、定期的に感染者と接触機会のある者も接種し得る。

11月18日～：18歳以上の者に接種を推奨。

2022年1月13日～：12歳以上の者に接種を推奨。

追加接種（4回目）

(保健省、4月22日最終更新日)

2022年2月15日～：70歳以上の者、5歳以上の免疫不全者、介護施設入所者、医療又は介護施設で勤務する者に接種を推奨。

※1 一部地域で開始。

※2 重度の免疫不全者は初回シリーズ完了から4週間以上経過後に初回シリーズとして更に1回接種し、その接種から3か月以上経過後、医学的助言のもとで追加接種。ヤンセン社ワクチン接種者は初回シリーズ完了から4週間以上経過後に2回目（mRNAワクチン）を接種し、更に3か月以上経過後mRNAワクチンを追加接種。その他の者については2021年11月18日に「医学的な必要性がある場合やワクチンの供給量が十分な場合は、事例ごとに5か月に短縮し得る」とされていたが、12月21日にオミクロン株の出現を受けSTIKO声明にて「3か月以上経過後」に接種間隔を短縮。

※3 初回シリーズが2回接種のワクチンにおいては以下の3通り；①初回接種後に感染した場合；感染から3か月後以降に2回目接種。②2回目接種後に感染した場合は感染から3か月後以降に追加接種。③ワクチン初回接種前に感染し（症状消失後4週間以降に）ワクチンを接種した者は、初回接種から3か月後以降に2回目接種。

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について

カナダ

接種開始日 (初回/追加接種)

初回接種
2020年12月～

追加接種（3回目）
免疫不全者：
2021年9月10日～
それ以外：
2021年9月28日～※1

追加接種（4回目）：
2022年4月5日～

接種間隔
追加接種（3回目）：
初回シリーズ完了から**6か月以上経過後**※2
追加接種（4回目）：
3回目接種完了から**6か月以上経過後**※3

認可されているワクチン及び組み合わせ

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- アストラゼネカ
- ヤンセン
- ノババックス
- メディカゴ

追加接種（3回目）
(NACI、3月7日最終更新日)

- 初回シリーズで使用したワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを使用することを推奨する。
- ウイルスベクターワクチンはその他のワクチンが禁忌や供給状況により使用できない場合に限り、使用を検討し得る。
- 18歳以上29歳以下についてはファイザー社ワクチンがモデルナ社ワクチンより好ましい。

(NACI、1月28日)

- 12-17歳についてはファイザー社ワクチン又はモデルナ社ワクチンを推奨し得る。
- モデルナ社ワクチンは12-17歳への追加接種での使用データがないため、ファイザー社ワクチンがより好ましい。

(NACI、2月17日)

- mRNAワクチンを希望しない又は禁忌の者についてはノババックス社ワクチンを接種し得る。

追加接種（4回目）
(NACI、4月5日最終更新日)

- モデルナ社ワクチン又はファイザー社ワクチンが考慮され得る。mRNAワクチンを希望しない又は禁忌の者についてはノババックス社ワクチンを接種し得る。

追加接種対象者とその推移

追加接種（3回目） (NACI、2022年4月12日最終更新日)

2021年9月10日～：中等度～重度免疫不全者※4は追加接種が提供されるべき。

9月28日～：長期療養施設入所者やその他施設に居住する高齢者のうち、mRNAワクチンの2回目接種から最低6か月経過した者は追加接種が提供されるべき。

10月29日～：80歳以上の者は追加接種が提供されるべき。
70歳以上79歳以下の者、先住民集落居住者又は出身者、患者と直接接する医療従事者で、1回目・2回目接種の間隔が28日未満の者、初回シリーズをウイルスベクターワクチンで完了した者は追加接種が提供され得る。

12月3日～：50歳以上の者、長期療養施設入所者やその他施設に居住する成人、初回シリーズでウイルスベクターワクチンのみ接種完了した者、先住民集落居住者又は出身者、患者と直接接する医療従事者は追加接種が提供されるべき。

18歳以上49歳以下の者は追加接種が提供され得る。

2022年1月28日～：
12-17歳で基礎疾患を有する者、共同生活者、又は特定の人種や社会から疎外されたコミュニティに属する者は追加接種が提供され得る※5。

4月12日～：18歳以上の者は追加接種が提供されるべき。
12-17歳で基礎疾患を有する者、共同生活者、又は特定の人種や社会から疎外されたコミュニティに属する者は追加接種が提供されるべき※5。
疫学的リスクが高い場合、その他全ての12-17歳の者に追加接種が提供され得る。

追加接種（4回目）
(NACI、2022年4月5日最終更新日)

2022年4月5日～：80歳以上の者、長期介護施設や共同居住施設に入居する高齢者に提供する準備がされるべき。
70-79歳への提供も考慮し得る。

※1 保健省下にある諮問委員会 (NACI) による推奨。ただし、NACIが推奨する対象者への追加接種は地域主導で既に開始している。 ※2 免疫不全者は初回シリーズ完了から4週間以上経過後で変更なし。追加接種開始時（10月29日）以降接種間隔に変更はないものの、1月17日時点で州によっては初回シリーズから3-5か月経過後から接種可能。 ※3 6か月を推奨するが、地域の疫学的状況を考慮してより短い間隔での接種も適応となり得る。

※4 悪性疾患治療中、臓器移植レシピエントで免疫抑制薬を使用中、CAR-T細胞療法中、造血幹細胞移植（移植後2年以内か免疫抑制療法中）、中等度～重度原発性免疫不全症、ステージ3以上の未治療HIV感染症及び後天性免疫不全症候群、免疫抑制療法中（CD19/ CD20/ CD22を標的としたモノクローナル抗体療法、大量全身性コルチコステロイド療法、アルキル化薬、代謝拮抗薬、TNF阻害薬、その他免疫抑制効果の強い生物製剤）

※5 18歳未満への追加接種を承認していないため、12-17歳への追加接種は適応外使用。（Health Canada、1月28日）

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について



国際連合

接種開始日

(初回/追加接種)

初回接種

N/A

追加接種

N/A

接種間隔

N/A※1

認可されているワクチン及び組み合わせ

初回シリーズ

- ファイザー
- アストラゼネカ※2
- ヤンセン
- モデルナ
- シノファーム
- シノバック
- コバクシン※3
- ノババックス※4

追加接種（3回目）

- (SAGE※5、2021年10月11日)
- 中等度～重度免疫不全者についてはWHOにより緊急使用承認されている全てのワクチンが対象となる。
 - 初回シリーズでシノバック社またはシノファーム社ワクチンを接種した60歳以上の者に対しては、同じワクチンを使用すべき。ワクチン供給の状況次第では、異なるワクチンの接種も検討し得る。
- (SAGE、2022年1月21日最終更新日)
- 同種接種も交差接種も柔軟に使用することを支持する。

追加接種対象者とその推移

- 専門家委員会のSAGE、TAG-CO-VAC推奨に対し、WHO事務局長はこの推奨に対して現時点で承認を表明していない。
- (SAGE、2021年10月11日最終更新日)
- 中等度～重度免疫不全者に対して初回シリーズの延長という位置づけで追加接種すべき。
 - 初回シリーズでシノバック社またはシノファーム社ワクチンを接種した60歳以上の者に対して初回シリーズの延長という位置づけで追加接種すべき。
- (WHO、11月19日最終更新日)
- 非免疫不全者に対する追加接種（同種接種、交差接種、変異株対応ワクチン）の必要性和最適な接種タイミングは調査中。
- (WHO、12月22日中間ステートメント)
- 世界的にワクチン供給の制約と不公平が続く中、広範な追加接種の投与は、一部の国において初回シリーズを受けておらず優先順位が高い人々がいるにもかかわらず、接種率が高い国において需要を高め、ワクチンへのアクセスを悪化させるリスクがある。
- (SAGE、2022年1月21日最終更新日)
- 初回シリーズカバー率の低い国々では、優先度の低い集団へのワクチン接種の提供よりも、優先度の高い集団における高い初回シリーズ完了率をまず達成すべき。初回シリーズカバー率が中程度から高い国々では、優先度の低い集団へのワクチン接種の提供よりも、優先度の高い集団における高い追加接種完了率をまず達成するために利用可能な資源を優先順位付けすべき。
- (TAG-CO-VAC※6、3月8日中間ステートメント)
- オミクロン株の流行期のコンテキストの中であってさえも、現在の新型コロナウイルスワクチンは重症化や死亡を高い水準で予防し続けていることを考慮すると、現在の新型コロナウイルスワクチンによる初回シリーズ及び追加接種への早急な幅広いアクセスをTAGは強く支持する。

※1 SAGEは2022年1月21日時点で、追加接種（3回目）は原則としてワクチンの種類に応じて、症例数が増加し、ワクチンの有効性が有意に低下している国において初回シリーズ完了から4～6か月経過後が考慮され得るとしている。症例数が増加していない、又はリスクが低い国ではより長い間隔を考慮し得る。※2 COVISHIELD社製を含む。

※3 WHOの監査によりGMP違反が判明し、2022年4月2日から供給停止。 ※4 Serum Institute of India社製COVOVAXを含む。

※5 The Strategic Advisory Group of Experts on Immunizationは独立諮問委員会であり、WHO事務局長に対してワクチン等における領域で助言を提供するが、最終的な決定権、実行力は有さない。

※6 The Technical Advisory Group on COVID-19 Vaccine Compositionは独立した専門家集団で、懸念すべき変異株のワクチンに与える影響を評価する方法についてWHOに推奨を行い、懸念すべき変異株のワクチンに与える影響についての入手可能なエビデンスの解釈を提供し、必要な改変をWHOに推奨する。

SOURCE: WHO, WHO, WHO, WHO, WHO, WHO

諸外国における新型コロナウイルス追加接種の状況について



EU

接種開始日 (初回/追加接種)

初回接種
N/A

追加接種
N/A

接種間隔

追加接種（3回目）：
初回シリーズ完了から
6か月以上経過後^{*1}
(ただし、公衆衛生の視点から望ましい場合は、
3か月経過後の接種も有効で安全とするデータがある。)

追加接種（4回目）：
追加接種（3回目）完了
から**4か月以上経過後**

認可されているワクチン及び組み合わせ

初回シリーズ

- ファイザー
- モデルナ
- アストラゼネカ
- ヤンセン
- ノババックス

追加接種（3回目）

(EMA、2021年10月25日最終更新日)

- 免疫不全者については、ファイザー社またはモデルナ社ワクチンを使用し得る。
- その他18歳以上の者については、ファイザー社またはモデルナ社ワクチンを使用し得る。

(EMA/ECDC、12月7日最終更新日)

- 一部のワクチンによる予防効果の向上や、接種に対する受容、ワクチンの供給・入手可能性等に対する柔軟性の担保のために、追加接種において初回シリーズと異なるワクチンを使用し得る。

(EMA、2022年2月24日最終更新日)

- 12歳以上の者については、ファイザー社ワクチンを使用し得る。

追加接種（4回目）

(EMA/ECDC、2022年4月6日最終更新日)

- mRNAワクチンを使用し得る。

追加接種対象者と その推移

追加接種（3回目） (EMA、2022年2月24日最終更新日)

以下の者は接種し得る。

2021年10月4日～

- 重度免疫不全者
- 18歳以上の者

2022年2月24日～

- 12歳以上の者

追加接種（4回目）

(EMA/ECDC、2022年4月6日最終更新日)

2022年4月6日～：80歳以上の者に接種し得る。

^{*1} 免疫不全者は初回シリーズ完了から28日以上経過後。その他の者について追加接種開始時（2021年10月4日）は初回シリーズ完了から6か月以上経過後としていたが、2021年12月7日に原則的には初回シリーズ完了から6か月以上経過後を推奨するものの、3か月以上経過後の場合も有効で安全であるとの文言が追加された。